

介助犬を知っていますか？



本会では、毎年子ども盲導犬教室を開催していますが、受講生から介助犬についても知りたいとのご意見をいただきました。そこで、社会福祉法人 日本介助犬協会へ取材に行ってきました。

介助犬とは

介助犬とは手や足などに障害がある、肢体不自由の方が日常生活で困る場面において、物品を運ぶ、ドアを開けるなど、日常生活のお手伝いをする補助犬の一種です。※視覚障害のある方は盲導犬、聴覚障害がある方は聴導犬がサポートをします。



社会福祉法人 日本介助犬協会とは

介助犬の育成をしている団体です。介助犬の啓発活動も行い、介助犬を一人でも多くの人に知ってもらうように活動しています。

介助犬の課題について

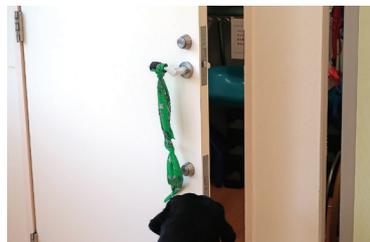
認知度の低さが問題です。介助犬を知ってもらうためにイベントの参加などPR活動に力を入れています。なかなか広まっていけない現状があります。活動資金についても支援をお願いしています。

PR犬のピト君です。介助犬は人が大好きで、楽しく仕事をしています！

皆さんへ伝えたいこと

現在、日本で59頭(2024年4月現在)の介助犬が活動しています。一方、潜在的に介助犬が必要な人は1万5千人ほどいると言われています。必要としている方に知ってもらうように、理解が広がるように、多くの人に介助犬について知ってほしいです。皆さんに知ってもらうためにも、介助犬総合訓練センター(長久手市)では毎月見学会を開催していますので、興味のある方はぜひご参加ください。ウェブサイトから申込ができます。

⇒ <https://s-dog.jp> (日本介助犬協会ウェブサイト)



介助犬は肢体不自由な方の生活を支えてくれるだけではなく、寄り添う姿から心の支えにもなってくれるとの話がありました。介助犬のおかげで前向きになった方もいらっしゃることで、改めて大切な存在であると感じました。

現在愛知県では4頭の介助犬が活動をしているそうです。町中で活躍している姿を見かけることがありましたら、優しく見守ってください。

10ページにて、補助犬の一種である盲導犬について学べる講座情報を掲載しています！